

(研究機関の名称：広島市立広島市民病院)

現在、当院血液内科で実施している研究へご協力をお願い

1. 研究課題名

血栓性血小板減少性紫斑病 (TTP) に生じる心筋虚血と好中球細胞外トラップ (NETs) の評価

2. 対象となる方

2005年4月1日から2023年9月30日の間に当院から奈良県立医科大学輸血部に検体を提出されTTPと診断された患者さん

3. 研究目的

血栓性血小板減少性紫斑病は全身に血栓をもたらす疾患であるが、過去の研究の結果心筋虚血が致命的帰結の主因である可能性が示されています。また近年好中球細胞外トラップという機序が発見されました。これは好中球が細菌などを貪食によって殺菌するのではなく核酸を投網のように投射してとらえる全く新しい免疫学的機序です。しかしこの機序の免疫反応は慢性化することで血栓形成の素地になることが判明しています。今回奈良県立医科大学輸血部に提出された検体を用いて心筋虚血と好中球細胞外トラップの関連性を研究します。また初診時の臨床所見について担当医にアンケートを送付し症状との関連を評価します。

4. 研究期間

2024年1月(倫理審査委員会承認後)～2028年3月31日(予定)

5. 研究に用いる試料・情報の種類

対象となる患者さんの担当医に依頼して、以下の情報を提供いただきます。

- ①患者イニシャル、生年月日、性別、発症日、既往歴 等
- ②抗血栓療法の有無、胸部所見の有無、心電図所見、心臓超音波所見、トロポニン測定値
- ③心筋ストレスマーカー、転帰 等

また、提出された血液検体を用いて、以下の項目を測定します。

- ①トロポニンT、トロポニンI、シトルリン化ヒストンH3、DNA/histone complex

6. 実施方法

この研究に使用する情報を研究代表機関(またはデータセンターなど)に提供させていただきます。研究に使用する試料や情報は匿名化処理を行い、患者さんの氏名やカルテ番号、住

所などが特定できないようにしたうえで提供します。また、患者さんの氏名やカルテ番号を置き換えた番号との対応表も当院で保管し、当院以外へはできません。

【主な提供方法】データの収集は Microsoft Forms で行います。より詳細な情報が必要な際には紙面でのアンケートを追加で実施することがあります。

7. 研究組織

奈良県立医科大学輸血部 教授 松本 雅則

ほか全国の血液専門医が在籍する 140 機関

8. 研究代表者及び研究責任者

研究代表者：奈良県立医科大学輸血部 教授 松本 雅則

当院の研究責任者：

広島市立広島市民病院血液内科 部長 田中 芳紀

9. お問い合わせ先

この研究は、広島市立広島市民病院倫理審査委員会の承認を得て実施しています。
また、患者さんを特定できないようにしたうえで、学会や論文で発表する予定です。

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒730-8518 広島市中区基町7番33号

電話 (082) 221-2291 (代表)

広島市立広島市民病院血液内科 田中 芳紀